

●活動拠点のオープン

平成27年に中野方子ども園が新築されたことにより、取り壊される予定だった旧保育園を地元から市に強く働きかけ、中野方自治振興会が無償譲渡を受けた。

「ふれあいセンターまめの木」と命名し、平成28年4月から地域福祉の拠点として当会が管理運営することとなった。

新しく「まめくらクラブ（高齢者の居場所）」と「ふれあいサロン（誰もが集える場所）」を設け、現在も精力的に活動を続けている。



銘板除幕式



活動拠点「ふれあいセンターまめの木」

●新たな取組み

経営基盤強化、後継者の雇用へと繋げるため、「菓子製造業」の認可を受け、平成28年8月から、お菓子の製造販売を開始。



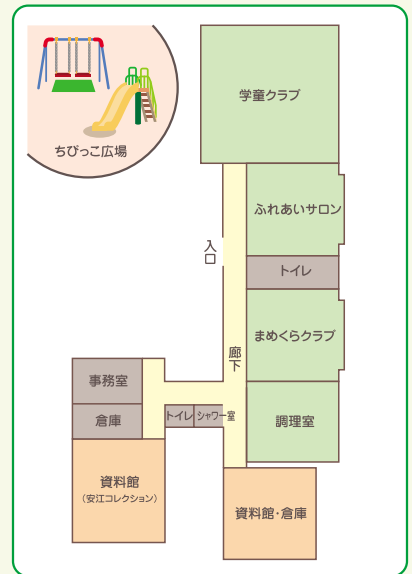
ポイント

当会の最大の特徴は、学童保育と高齢者の活動を同じ建物の中で実施していること。

世代間のつながりが希薄になっている状況の中で、世代を超えた交流が高齢者にとっては癒しや生きがいとなり、子どもたちにとっては高齢者から温かい言葉がけがいただける場所になっている。また、中野方地域の方々が積極的にボランティアとして活動しており、地域の絆が深まっている。

「ふれあいセンターまめの木」を拠点とした具体的な事業内容については、次号（平成29年3月発行予定）でご紹介します。

まめの木 案内図



ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

～自治会・町内会活動をはじめ、地域の住民同士が支え合い・助け合う活動を行っている、または始めたいと考えている皆様へ～

地域が抱える課題（防災、子育て支援、防犯、高齢者の見守りなど）の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターとして岐阜県コミュニティ診断士（※）を派遣するなど、要望に応じて課題解決の応援をします。

詳しくはホームページ検索サイトで、[地域の課題解決応援事業](#) [検索](#)

〈派遣事例〉安八郡神戸町「神女（かみじょ）会議」に、アドバイザーとファシリテーターを派遣

※岐阜県コミュニティ診断士とは

地域コミュニティの現状について調査・分析を行い、それにより明らかとなった諸課題について、地域住民、自治会、NPO、企業など地域の様々な主体と協働して、その解決・改善に取り組み、地域コミュニティの再生・活性化を推進するコミュニティの専門家です。

平成14年度より県と岐阜経済大学が共同認定しています。

詳しくはホームページ検索サイトで、[岐阜県コミュニティ診断士](#) [検索](#)

〈活動事例〉平成28年度学びによる地域づくり活動実践講座（笠松町）

平成28年度学びによる地域づくり活動デビュー講座（美濃加茂市・北方町）



神戸町「神女会議」のグループワーク



美濃加茂市のグループワーク